

# 文化財 せんだい



## No. 133

令和4年(2022年)7月発行  
仙台市教育委員会文化財課

仙台市青葉区上杉一丁目5-12

上杉分庁舎 10階

〒980-0011 Tel:022-214-8893

仙台市文化財課

検索

## 仙台城跡の被災状況と復旧について

令和4年3月16日に発生した福島県沖地震によって、仙台城跡の本丸北西石垣や酉門石垣が崩落した他、その他の石垣や土塀などにも多くの被害が出ました。また今回の地震によって、令和4年度に復旧予定だった、令和3年2月13日の福島県沖地震によって被災した石垣や土塀への被害もさらに拡大しました。

仙台城跡は、国指定史跡であるため、有識者で構成される仙台城跡調査・整備委員会や文化庁に相談しながら復旧を進める必要があります。

東日本大震災によって被災した仙台城跡の石垣の復旧には約4年を要しました。今回の復旧事業では、過去に記録した復旧のデータを活用することによって、1日も早い復旧を目指しています。



①崩落した本丸北西石垣



②崩落した酉門石垣



③変形した清水門石垣



④変形した中門石垣



⑤大手門北側土塀の漆喰亀裂

仙台城跡の被災概要 ※②、④、⑤は令和3年2月の福島県沖地震による被害を含む

場 所	概 要
①本丸北西石垣	崩落：約16m、変形：約105m、石垣に面する市道に亀裂
②酉門石垣※	崩落：約12m、変形：約30m
③清水門石垣	変形：約4m
④中門石垣※	変形：北石垣40m・南石垣22m
⑤大手門北側土塀・石垣※	漆喰亀裂多数

# はっくつちようさ 【発掘調査のススメ】第1弾…掘って知ろう仙台の歴史

今回は第1弾として、文化財課のメインの仕事ともいえる(でも意外と知られていない?)発掘調査のようすを、みなさんにわかりやすくお伝えします!

小中学生のみんなへ  
わからないところは、  
まわりのおとなの人に  
聞いてみましょう。

## ○なぜ発掘調査をするの?

わたしたちが発掘調査を行う理由は、簡単にいえば「地域の歴史を発見するため」、そして「文化財を守り、みなさんに知らせるため」です。

何もなただけの空き地にみえる場所でも、実は土の下には昔の人たちの生活の跡が残っています。それは土器や石器、柱を立てた穴など、とにかくたくさんあります!

その場所に何があったのかを探り、地域の歴史を発見し、みなさんにお知らせするのがわたしたちの仕事です。

柱の跡が丸く  
出てきました!



## ○調査ってなにをするの?

調査では遺構(昔の人が掘った穴や家の跡など)や遺物(土器など)が見分かる地層を探し、スコップなどで薄くけずっていきます。このとき、掘りすぎないように、遺物をこわさないように慎重な作業が必要です。

また、文化財課の職員だけではなく、10年以上この仕事を続けているベテランの作業員さんたちと一緒に調査をしています。みなさんの住んでいる場所の近くでも調査が行われているかも…?見かけたときはぜひ見学しに来てください!



薄くけずっていくようす



慎重に作業をして…



土器を発見!!

▷▷▷次号では、発見した文化財をどのように整理するのかをご紹介します

## 発掘調査～春夏秋冬～ 赤い土の謎に迫る!! -南小泉遺跡(若林区)-

文化財課では、仙台市内に約780か所ある遺跡で日々発掘調査を行っています。今回は、その中から令和4年1月に行った若林区遠見塚の住宅地での調査成果をお伝えします。

地面の約1m20cm下から突如現れた赤い土! 皆さん何だと思いませんか? この赤い土の正体は「焼土」です。文字通り焼けた土のことです! ここはいったいどのような場所だったのでしょうか? 過去に行った周辺の調査では、古代(奈良時代・平安時代)の竪穴住居跡が多数見付かっており、人々が生活していたことが分かっています。人々は火を使って何をしていたのでしょうか? たき火の前で温まっていたのでしょうか、食事を作っていたのでしょうか、はたまた…。今回の調査では、残念ながらどのような跡なのか解明することはできませんでした。しかし、南小泉で暮らしていた人々の生活を知る上で大切な手掛かりとなります。この地でどのような生活をしていたのか想像を膨らませてみてください!



焼土跡

# お知らせ

## 1 出前講座・出前授業をぜひご利用ください☆

「仙台のシンボル、伊達政宗のことを知りたい！」

「仙台の歴史についてざっくり知りたい！」

「自分の住む地域の歴史を知りたい！」

その“知りたい”に応えるべく、文化財課職員が歴史のロマンを出前しに参ります！

〈昨年度例〉

「ふるさと仙台の歴史」「仙台城跡と大手門」「郡山遺跡と陸奥国分寺」「縄文土器と弥生土器」

「地域の伝統を伝える～民俗芸能や建物などの魅力」



出前講座・出前授業以外にも地域・学校のご要望に応じて様々な事業を行っております。どしどしお問い合わせください!!

## 2 全国国分寺サミット2022 in 仙台・陸奥国分寺を開催します☆

今年は、陸奥国分寺跡(若林区木ノ下)が史跡に指定されてちょうど100年、ガイダンス施設は開館5年目を迎えます。この節目の年にあたり仙台市では「第12回全国国分寺サミット2022 in 仙台・陸奥国分寺」を開催いたします。当日は、記念講演やパネルディスカッションを予定しています。入場は無料で、どなたでもお気軽にご来場いただけます。この機会に、陸奥国分寺跡の歴史を学んでみませんか。

○日時 令和4年10月8日(土) 14:00～

○内容 ・記念講演「陸奥国分寺・国分尼寺と疫病・皇位継承」  
東北大学大学院文学研究科 教授 堀 裕氏  
・パネルディスカッション

○会場 聖和学園高等学校サールナートホール(入場無料)

※駐車場はございませんので、公共交通機関をご利用ください。



## 3 民俗芸能×「せんだいTube」

仙台市内には、20を超える民俗芸能が伝承されています。民俗芸能は、仙台の豊かな自然と長い歴史の中で、先人たちが脈々と受け継いできました。同じものは一つとしてない、地域の宝です。

仙台市教育委員会では、民俗芸能の魅力を紹介する催しとして、毎年1回「民俗芸能のつどい」を開催しています。この「民俗芸能のつどい」のダイジェスト動画を、市の公式YouTube「せんだいTube」で見ることができるようになりました。

軽やかなお囃子に、重厚な舞い、華やかな踊りなど、団体ごとに特色ある民俗芸能を、迫力ある鮮やかな映像でお楽しみください。



## 4 ウェブサイト「仙台市の遺跡」をご存じですか？

「仙台市の遺跡」は、仙台市内の主な遺跡を、地図から選んで調べ、名前や種類、時代から調べることができるサイトです。遺跡がたくさんありすぎて何から調べれば良いか分からないという方には、トップページのタイトル画像や「今日の遺跡」で取り上げている遺跡をご覧ください。タイトル画像は当課オススメの遺跡を取り上げておりますし、「今日の遺跡」は日替わりで遺跡を紹介しています。興味のある遺跡が見つけられるはずですよ。



「仙台市の遺跡」トップ

### 【サイトへの行き方】

仙台市ホームページ：「ホーム」⇒「くらしの情報」⇒「学ぶ・楽しむ・活動する」⇒「教育」⇒「仙台市教育委員会トップページ」⇒「文化財」⇒「仙台市の文化財」⇒「仙台市の遺跡」⇒外部サイト「仙台市の遺跡」



こちらの二次元コードからもご覧いただけます。



## 5 ミズバショウの調査報告書を刊行しました！

仙台市指定天然記念物「泉ヶ岳のミズバショウほか湿生植物群生地」について、令和3年度に調査報告書を刊行しました。これは、平成24年度から令和2年度までの9ヶ年をかけて、樹木の刈払いによる光条件の変化がミズバショウや植物の生育にどのような影響を与えるのかを調べ、その結果を基に、保存管理の指針を策定したものです。

調査からは、刈払いはミズバショウの葉の量を増加させる可能性があるものの、ミズバショウ以外の植物の生育を改善し、ミズバショウとの新たな競合を招く恐れがあることが分かりました。これを受けて、「泉ヶ岳のミズバショウほか湿生植物群生地」の保存管理は、自律的な自然の回復を目指すことを原則とし、現在失われた自然を人為的に取り戻すことなどは原則として行わないことを指針とするともに、調査結果を踏まえた留意事項を整理しました。



調査中のミズバショウ開花状況  
(平成29年4月)

祝

来館者5万人達成!!

★史跡陸奥国分寺・尼寺跡ガイダンス施設の来館者が、令和4年5月9日に5万人を突破しました。記念すべき5万人目の来館者は、市内にお住いの小松様です。展示をご覧になり「歴史を深く学ぶことができた」とのご感想をいただきました。これからも多くの皆様のご来館をお待ちしています。



・新型コロナウイルスの流行状況により、当課の事業、イベント等につきましては中止や延期となる可能性があります。最新の情報は当課ホームページやお電話等でご確認ください。(表紙上部記載)